

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

全脊椎2方向レントゲン画像を用いた術後頂椎 rotation の計測  
-逆三角関数  $\arctan$  を使った定量評価-

### 2. 研究責任者(当院)

所属：整形外科

氏名：奥脇駿

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

### 3. 分担研究者

所属：聖隷佐倉市民病院

氏名：小谷俊明

### 4. 研究対象者

2011年1月1日～2020年12月31日の間に、聖隷佐倉市民病院において思春期特発性側弯症と診断を受け、手術加療を受けた方。

### 5. 研究の必要性

思春期特発性側弯症の患者では、術後に椎体の成長に伴って回旋変形を生じる可能性が指摘されている。これまでは実際に回旋変形を評価した報告はなく、その実態は明らかになっていない。Rotation 計測には CT 画像が必要であるが、被爆の問題がある。今回我々は全脊椎2方向レントゲンでの椎弓根スクリュー長を計測し、逆三角関数  $\arctan$  を計算することで椎弓根スクリューの rotation 角を評価し、実際に術後の回旋変形が生じているかを調査する。本研究は思春期特発性側弯症患者の病因解明の一助となりうる。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

実際に回旋変形が生じているか調査することで、術後矯正損失の原因解明ができ、その対策を講じることができる。

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：小谷俊明

対応時間：8:30-17:00 (平日)